

2020年6月30日

日本規格協会規格（JSA 規格） 「自動車用リビルト部品の JSA 規格 JSA-S1005」を発行

（株）アーネストが開発主体となって開発した“自動車用リビルト部品のリビルトプロセスに関する要求事項”の JSA 規格化

一般財団法人日本規格協会（本部：東京都港区、理事長：揖斐敏夫）は、株式会社アーネスト（本社：埼玉県吉川市、代表取締役社長：大川恵司）が開発主体となって開発した、自動車用リビルト部品のリビルトプロセスに関する要求事項を、JSA-S1005『自動車用リビルト部品のリビルトプロセスに関する要求事項』（Automotive rebuilt parts-Rebuilt process requirements）として、2020年6月30日に発行しました。

この JSA 規格は、2014年に（株）アーネストが英国規格協会（BSI）に提案して制定された BSI PAS 3100, Remanufactured automotive parts. Specification for a process control system を基に、国内の事情に配慮して、リビルトプロセスの計画時に国内関係法令遵守、知的財産侵害の確認を行うなどの要求事項を追加しています。

自動車用リビルト部品は、自動車補修用リサイクル部品の一つとして、使用済自動車から回収した有用な部品を再利用するものであり、使用済自動車の適正な処理及び資源の有効な利用を促進し、国民の生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に大きく貢献するものであります。この JSA 規格では、このような国の施策の趣旨に合う自動車用リビルト部品の普及・促進を実現させるため、適切なリビルトプロセスを明確に規定することで、健全な市場形成を支援することを狙いとしています。

JSA 規格とは

多様な規格開発ニーズをもつ様々なステークホルダー（企業、団体、政府機関、学会など）からの提案・依頼を受け、日本規格協会が発行する民間規格が JSA 規格です。2017年6月の制度創設以来、依頼主の自主的な規格開発の取組みに対し、標準化の専門機関である日本規格協会が、質の高い、効率的な規格開発のプロジェクトマネジメント支援を提供し、透明性・公平性及び客観性を確保した JSA 規格を迅速に開発しています。

自動車用リビルト部品とは

使用済み又は修理時の自動車から取り外した自動車部品を、一度構成部品に分解した後、点検し、摩耗・劣化した構成部品を、修理した構成部品又は未使用の構成部品と交換して再度組み立

てて、性能確認をした部品。

この JSA 規格では、自動車用リビルト部品の品質の確保、リビルトプロセスにおける環境への配慮、作業者の健康・安全の確保などに不可欠な事項を、要求事項として規定しています。

さらに、数多くある自動車用リビルト部品の品目ごとのリビルト内容、各作業ステージに必要なスキル、工具・装置類などを取りまとめた詳細な資料を「解説」として附属しています。

(参考) 自動車リサイクル法の目的など

2002 年に制定されたわが国の自動車リサイクル法「使用済自動車の再資源化等に関する法律」では、その目的として「使用済自動車に係る廃棄物の減量並びに再生資源及び再生部品の十分な利用等を通じて、使用済自動車に係る廃棄物の適正な処理及び資源の有効な利用の確保等を図り、もって生活環境の保全及び国民経済の健全な発展に寄与すること」と規定されています。

この法律の第 5 条では、「自動車の所有者は、自動車の修理に当たって使用済自動車の再資源化により得られた物又はこれを使用した物を使用すること等により、使用済自動車の再資源化等を促進するよう努めなければならない。」と規定され、所有者の自動車修理に際しての責務が明記されています。

お問い合わせ

一般財団法人日本規格協会 JSA 規格事務局

E-mail : jsastandard@jsa.or.jp

自動車用リビルト部品の JSA 規格 JSA-S1005 は、日本規格協会の HP から検索できます。

<https://www.jsa.or.jp/dev/jsas>